

ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部



花舗彩ふ迷う一鉢室の花

西町 金澤頼子

福豆や気まぐれになを生きむとす

西町 杉浦とし枝

一服の茶を手に愛でる室の花

元町 印牧安子

あかぎれに息吹きかける母の居て

藤本町 鈴木ゆき子

陽のあふる窓辺に並ぶ室の花

仲町 坂部和子

あかぎれの摩する母の手背に優し

西岡町 高瀬久美子

室の花いのち継ぐ水いきいきと

元町 西崎弘子

あかぎれ
鞆の葉あげたき七き母へ

東町 高橋世津子

風花やひとりの時間涯もなし

緑町 池田良子

あかぎれを比べっこする下校道

仲町 梅基文子

半纏は母の紬や春を待つ

西町 文梨清子

節分や赤鬼の面子を泣かす

西原町 児玉久美子

立春や暦のうえとひとり言

旭町 大河博子

地虫出づ畳の感触確かめて

仲町 芳賀星子

花風や「葬儀終了」なぞりゐし

仲町 玉野研一

家回り深雪に囲まれうずもれる

西町 岸波君江